

授業科目 精神障害作業療法評価学

【担当教員名】 長谷川 利 夫		対象学年	2	対象学科	作業
		開講時期	後期	必修・選択	必修
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 精神障害に対する作業療法の評価を実施するために、必要となる基礎的な知識・技能・態度を身につける					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. 評価の概要について説明できる 2. 評価と経過について説明できる 3. 対象者の経過と評価の整合性について述べるができる 4. 評価の方法について列挙できる 5. 作業療法計画について書式にまとめてレポートとして提出できる					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	評価の特性・目的・対象項目			1	講義
2	作業療法アプローチと評価の関係			1	講義
3	評価の時期と適応			2	講義
4	評価と回復状態			2	講義
5	評価の必要性			3	講義
6	ICFとの関連			3	講義
7	検査結果の解釈検討			3	講義
8	適応課題の選出			3	講義
9	ゴールの整合性			3	講義
10	適応課題と作業の適応			3	講義
11	評価・経過の記録			3	講義
12	フォローアップの実施計画立案			3	講義
13	情報・面接・観察			4	講義
14	作業面接・検査測定・調査			4	講義
15	まとめ			4	講義
				5	講義
【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)	精神障害と作業療法第2版	山根寛	三輪書店	2003	
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席、授業態度、レポート、定期試験等から総合的に判断する。			【履修上の留意点】		